

社会を変えられる力を  柏崎から！

柏崎ユニバーサルツーリズムセンター

心のバリアフリーで、柏崎の観光に新しい魅力を。



鯨波の海で「サンドライダー」を体験

動きやすい新型車椅子「アクロ」の普及を目指している押見さん



障がい者や高齢者の皆さんに、気がなく柏崎の魅力を楽しんでもらおうと、2019年から活動している「柏崎ユニバーサルツーリズムセンター（サポートセンター 柏崎内）」。

事業を担当する押見敏昭さんは、がんを患い車椅子で生活していた兄（享年56歳）と松雲山荘に訪れた際、砂利が轢かれた坂道では車椅子が進まず、車輪を持つて坂道を登った経験がありました。

その経験から「旅のバリア（障壁）は人の力で取り除くことができる」と柏崎ユニバーサルツーリズムセンターを立ち上げました。押見さんらの呼びかけにより現在、松雲山荘には砂利道でも進む車椅子（アクロ）が利用できます。

「市内にはバリアフリー等の設備があるだけ」になってしまっている所が多い。中には入店を断られてしまう店舗があるのも事実です」と押見さん。

県内で先陣を切って旅のバリアフリーに取り組む柏崎ユニバーサルツーリズムセンターの「人に優しい街づくり」の一部を紹介します。

work 01 チェア旅サイト公開

ハンディキャップを抱える人にも柏崎の魅力を楽しくもらおうと企画した「チェア旅」。

バリアフリーが整ったホテル、悪路



バリアフリーが整ったホテル、悪路



2020年12月に竣工した柏崎市役所新庁舎で、車椅子エレベーターの乗降についての検証を実施しました

でも走行可能な車椅子などを用意して、夏の海や冬の高柳を楽しめるツアーを地元旅行会社と組んだり、観光に訪れた方の介助等を行っています。

また、旅に同行する旅サポーターの養成にも力を入れており、当事者だけでなく、その家族の方にも「ホッとする時間」を提供できるよう日々勉強を重ねています。

work 02 バリアフリー調査

「必要な情報を提供せずに、市内へ観光に訪れてもらうのは難しいのではないかと押見さんは感じているそうです。

そこで、市内の店舗や施設に出向き、改善点や実態を調査しています。その際にはハンディキャップを抱える方に同行してもらい、当事者目線からアドバイスをもらいます。

このような実態調査で得た結果がすべての方に、より親切でわかりやすく伝わるように、柏崎版バリアフリーガイドマップの公開に向けて準備を進めています。

ご意見・お問い合わせ



特定非営利活動法人

地域活動サポートセンター柏崎

柏崎市東本町1丁目16番12号 2F
TEL.0257-47-7229(代表)

地域活動サポートセンター柏崎



チェア旅

柏崎ユニバーサルツーリズムセンターは日本ユニバーサルツーリズム推進ネットワークの会員です

チェア旅

検索



定期的開催している旅サポーター養成講座では、障がい者の負担にならない入浴補助や、車椅子の操作方法などを学びます

